



# 禁煙ジャーナル

■発行人 一般社団法人 タバコ問題情報センター [代表理事・渡辺文学]

No. 327

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-1-4 九段セントラルビル 203

TEL: 03-3222-6781 FAX: 03-3222-6780

《郵便振替》00120-0-159803 【印刷】遠藤印刷 1部500円

## 【新春特別寄稿】

# 感染・重症化防止の最重要課題は 禁煙推進と喫煙所の撤廃だ！ ～猛威を振るう新型コロナ～

新型コロナウイルスの猛威は留まることがありません。特に、昨年12月中旬以降の感染者は、首都圏はもとより、札幌、大阪、名古屋、福岡など大都市で激増しており、小池都知事、黒岩神奈川県知事、吉村大阪府知事などは連日記者会見を行って、この苦境を訴えています。また、日本医師会の中川会長や東京都医師会尾崎会長も、たびたびメディアに登場し、医療崩壊寸前の厳しい状況について警鐘を鳴らしています。超ご多忙の中、尾崎治夫会長から、新型コロナとのたたかいは、「禁煙と喫煙所の撤廃が最重要課題」として特別寄稿を頂きました。(渡辺文学)

## まだまだ続く新型コロナ時代

公益社団法人 東京都医師会  
会長 尾崎 治夫



東京都では、毎日2,000例を超える新型コロナウイルス感染者の報告が当たり前になってきている。

この原稿が掲載される頃には、3,000例、4,000例の報告も当たり前

になっているかもしれない。

改めて、もう一度みんなで原点に立ち返って「どうやったら新型コロナにかからないか、どうやったら他の人にうつさないか」を真剣に問い直す時期を迎えている。

いくら政府が緊急事態宣言を出し、飲食店への時短要請をしたところで、市中に感染が蔓延している現状では、効果は限定的であ

る。各自が感染しないための努力をし、第一波の時と同じような危機感と、正しく恐れる新たな気持ちで粘り強く続けていかなければ、この難局は乗り切れない。

このような中、喫煙者が新型コロナにかかりやすいリスク、重症化しやすいリスクは数々の論文で報告されているが、まだまだはっきりと全面的、科学的に立証されたわけではない。なぜなら、我が国をはじめ諸外国において、まだ新型コロナウイルス感染者の喫煙歴等の詳細な実態が、病歴聴取の際に徹底されていない現状があるためでもある。

### ■喫煙が重症化の要因

WHOは昨年6月30日の報告で、喫煙は新型コロナウイルス感染症で入院した場合、重症化や死亡することに関連していることが示唆されるとしている。

また当たり前のことではあるが、新型コロナ以外の病気でも、多くの場合、病気の原因や重症化につながっていると、改めて禁煙の重要性を説いている。その後、イギリス・

→\*1面からの続き←

ロンドンの研究グループやドイツの研究グループからも喫煙者が重症化する割合が、非喫煙者に比べていずれも2倍近くになることが報告されている。喫煙者の気道のバリア機能が低下し、それに伴ってウイルスの排除能力が落ちているのではないかという論文もある。

このように、新型コロナにかからないためには、マスク・手洗い・三密を避けるといった基本を守る事は当然だが、こと喫煙者においては、まずは禁煙することが重要課題になってくる。

### ■100万人が禁煙した英国

感染の広がりや段違いに多い国の1つになっているイギリスでは、2000年の4月から6月の間に700万人の喫煙者のうち100万人が禁煙に踏み切ったとBBCが伝えている。我が国の感染状況も、このところ感染者が激増し、発熱患者のPCR陽性率が23区では50%を超える医療機関も珍しくなく、多摩地区でも20%といった陽性率が稀ではなくなっている。近くにいる風邪気味の人が新型コロナウイルス感染者という状況がすでに起きはじめているのだ。

喫煙者はかかったら重症化したり、死亡する恐れが非喫煙者よりも高いので、今からでも遅くはない。是非、禁煙を！！

現在、禁煙外来を受診し治療を受けると、禁煙成功率は70から80%になっている。

今すぐ禁煙外来を受診し、禁煙にチャレンジしよう。

### ■感染リスク高まる喫煙所

喫煙者の皆さんが利用している喫煙所は、厚生労働省が提唱している「感染リスクが高まる5つの場所」にも挙げているように、一緒に吸っている人の中に感染者がいると、密閉・密空間でマスクを外して空気を吸い込まざるを得ない。特に、喋りながら吸ったりしていると極めて危険である。

私が役員を務めている団体が入るビルでも、喫煙室での感染がすでに2件報告されている。このように、喫煙所もリスクが高いため注意が必要である。

ただ、喫煙される方がいなくなれば喫煙所は自然に消滅するので、何よりも喫煙者が禁煙することが大切になる。

まだまだ新型コロナの時代は長く続く。この際、喫煙者は禁煙の英断をお願いする。

【おさき・はるお】

## 英国で百万人以上が禁煙！

—新型コロナ禍がきっかけ—

高齢者、医療従事者や症状が重篤化しやすい人などから順番に新型コロナウイルスのワクチン摂取がスタート。

しかし、その一方で、変異型の感染拡大がおさまらず、ロンドンをはじめ、イングランドの広い地域が警戒レベル・ティア4に指定された状態で新年を迎えた英国。ひどい1年となったが、禁煙に踏み切る人が記録的に増えた年でもあったという。BBCが伝えた。

英国には2019年の時点で、約7百万人の喫煙者がいると報告されていたが、喫煙者を減らす運動に取り組む禁煙団体「Action on Smoking and Health」(ASH)の委託を受け、世論調査機関「YouGov」が行った調査によれば、2020年4月から6月の3ヵ月間で、百万人余が禁煙に踏み切ったという。

コロナ禍によるロックダウン後に行われた同調査では、喫煙をやめた人の41%は「コロナ禍が直接の理由」と回答している。

喫煙者はコロナ感染後、非喫煙者より14%発症しやすいといった数字が示されたことにより、健康上の理由で禁煙を決意した人も多かったとみられるほか、外出制限でタバコが購入しづらくなった、また、パブやバーが閉まったままで、タバコを吸う機会が減ったことを理由に挙げた人もいた。

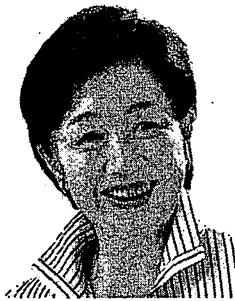
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンが別に行った調査では、2020年の6月までの約半年のみで、調査が始まった2007年以降で、1年あたりに喫煙をやめた人の数に関する記録を塗り替えたと報じられている。

【週刊ジャーニー(Japan Journals Ltd London)】



# 新型コロナ重症化を防ぐ ためにも禁煙の推進を

ジャーナリスト・元厚生労働大臣  
小宮山 洋子



新型コロナウイルス感染症が、いつまで続くのか、憂鬱な日々が続いています。

長年取り組んできた禁煙推進の立場からすると喫煙によってコロナは重症化する、とされており、この機会に禁煙が進むことを願っています。

新型コロナウイルスについて、EUの機関であるECDC（ヨーロッパ疫病予防センター）は、喫煙者が新型コロナウイルスに感染した場合、重症化するリスクが高いとする研究結果を発表しています。それによると、喫煙者が新型コロナウイルスに感染した場合、呼吸障害が起こりやすく重症化するリスクが高い傾向がある、としています。

その理由は、体内に取り込まれたウイルスが細胞に感染する際に必要とされる酵素が、喫煙によって肺の中で活性化しやすくなるためだ、という見方をECDCはしています。

## ■肺疾患のリスク減らす禁煙

各国の専門家からも、新型コロナ感染症にかかりやすく重症化しやすい因子として喫煙があげられています。タバコ問題の専門家として有名な研究者であるカリフォルニア大学サンフランシスコ校のスタントン・A・グランツ博士は、タバコをやめることによって新型コロナ感染症によって引き起こされる重篤な肺疾患のリスクを減らすことができる、としています。

中国の「Chinese Medical Journal」という医学雑誌の論文では、武漢の3つの病院に入院した新型コロナ感染症による肺炎患者78人の症状を、死亡を含む悪化と改善・安定で比較したところ、喫煙歴のある患者は約14倍も高く悪化した、ということです。

また、権威ある医学雑誌「THE LANCET」に掲載された中国での新型コロナ感染症とがん患者の関係についての論文では、喫煙は新型コロナウイルスが侵入する受容体（ACE2）の発現を著しく増加させ、同時にいわゆる「タバコ肺」と呼ばれるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）が新型コロナ感染症を重篤化させる独立した因子だ、と指摘しています。つまり、喫煙者は、新型コロナウイルスに感染しやすくなり、喫煙によって痛めつけられた肺は、新型コロナ感染症で、さらにダメージを受け、治りにくくなる、ということです。

## ■コロナは禁煙の大きなきっかけに

喫煙している人の中でも、8割近くが、できれ

ば禁煙したいと思っている、という調査結果を、ジョンソン&ジョンソンが、以前にまとめています。何かのきっかけがあれば、ということなら、新型コロナウイルスは、その大きなきっかけになると思います。

また、飲食店や職場などを原則屋内禁煙とする「改正健康増進法」が、昨年4月1日に全面施行されました。タバコが吸える場所は、煙の漏れない喫煙専用室などに限られます。しかし、喫煙室に喫煙者が集まれば、新型コロナウイルスの感染リスクが高いとされる「3密（密閉、密集、密接）」の状態になってしまいます。喫煙室では、喫煙者は互いにマスクをせず、2メートル以内の至近距離でタバコを吸い、平均5～6分は滞在します。喫煙室に、もし感染者がいれば「濃厚接触」に近い状態になります。

日本禁煙学会（作田学理事長）では「クラスター（感染者集団）が発生する懸念がある」として、喫煙室の閉鎖を呼び掛けています。その通りで、命をかけてタバコを吸う人はそういないと思いますので、こうした危険性をデータをもって、わかりやすく周知していくことが必要だと思います。

## ■東京五輪が法改正を促す

タバコを吸う人よりも周囲の人の被害が大きい受動喫煙を防止するための取り組みを、国会議員の時に超党派の「禁煙推進議員連盟」で行ってききましたが、タバコを擁護する議員が多く、JTなどのタバコ産業、小売業、葉タバコ農家などの力が強く、難航していました。外圧に弱い日本では、2020年開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックが、よい機会でした。それを見据えて、2020年4月に受動禁煙法ともいわれる「改正健康増進法」が全面施行されました。

これによって、住宅や旅館、ホテルの客室を除くすべての施設や公共交通機関が対象になりました。学校、病院、行政機関は敷地内全体を禁煙とし、受動喫煙が起きない屋外の決められた場所でもしか喫煙ができなくなりました。その他の施設では、屋内に喫煙専用室を設けることができますが、国が定める基準を満たす必要があります。

大きな課題は、飲食店では例外的に経過措置を設け、客席面積が100平方メートル以下で、個人または中小企業の既存店では喫煙を認めたことです。厚生労働省の試算では、禁煙の規制対象となる飲食店は全国で45%にすぎません。東京都の受動喫煙防止条例では84%が対象とされています。

喫煙できないと客が減る、という飲食店の意見がよく紹介されていますが、禁煙にしたら客が増えた、という店もあります。コロナで営業が大変な飲食店が多いと思いますが、コロナ予防のためにも「禁煙」とする飲食店が増えることを、期待したいと思います。

【こみやま・ようこ】

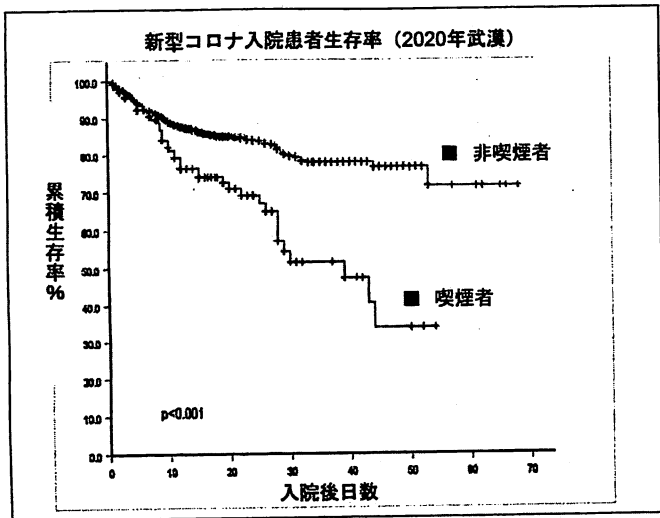
# 新型コロナのはなし④

日本禁煙学会理事 松崎 道幸

## ■新型コロナ死亡は喫煙で2倍増

2020年2～4月の武漢で新型コロナ入院患者について調査をしたところ、喫煙歴があると、非喫煙者よりも、2倍近く死亡していたことが分かりました。入院2か月後で生存していたのは、非喫煙者75%、喫煙者35%でした。

2021年丑年は、きれいな空気だけを吸う人生の始まりの年にしましょう！



## ■新型コロナで減った病気

新型コロナが流行したために減った病気があります。厚労省の資料で、定点観測インフルエンザサーベイランス医療施設からの報告によれば、2020年12月最終週あたりのインフルエンザ報告数は前シーズンの1000分の1のレベルでした。

マスクと3密対策をするとインフルはゼロに近くなるのに、新型コロナは感染30万人、死亡4千人近くとなっています。これを見ても、新型コロナはインフルエンザの100倍以上危険であることが分かります。

イスラエルでは、メタニューモウイルス、パラインフルエンザ、アデノウイルス、マイコプラズマ感染症が著減していました。

台湾では、院内感染として大問題となっていた多剤耐性菌検出頻度がコロナ流行期間中有意に減少しました。特に、カルバペネム耐性アシネトバクター・パウマンニ、バンコマイシン耐性腸球菌が減少しました。

マスク・手洗いなど基本的な感染予防を徹底すると、多くの感染症が防げることを示しています。

## ■世界の大統領・首相を表彰すると

BMJは世界の5大医学雑誌の一つですが、硬軟両様の内容を掲載しています。ウィットやユーモアに富んだアーティクルは、魅力的です。

2020年のコロナパンデミックにおける各国首脳の対策を鋭い切り口で評価した論説（2020年コロナ・アワード）が掲載されましたので紹介します。日本編がなかったので、私の独断と偏見で追加しました。

## 【コロナ・アワード各国首脳編抜粋】

### ◀最もウソをついたで賞▶

ドナルド・トランプ大統領（米国）

「新型コロナウイルスは間もなく消える」「中国ウイルス」「WHOから脱退する」「消毒薬を注射すればよい」「私はコロナに感染しない」と繰り返し述べた末に感染した。まったく言葉もない。それにもかかわらず、退院後マスクをせず、感染防止対策を拒否した。彼はパンデミックを政治問題化して、市民の健康保持を妨害した。彼が間もなく前大統領となることだけが救いである。

### ◀いい加減にワクチンを承認したで賞▶

ウラジミール・プーチン大統領（ロシア）

ロシアの感染者数は世界最多グループで、ヘルスケアシステムと病院の老朽化により、医療機能が限界に近付いているが、人口当たりの死亡率は比較的低い。プーチン大統領は、感染防止対策を比較的迅速に実施したが、ロックダウンは拒否し、自国のワクチンの迅速な開発を約束した。彼は、第Ⅲ相トライアル終了前にワクチンを承認し、ロシアの先進性を誇るという世界を驚かせる行動をとった。彼は、自分の娘がワクチンを受けたが、大丈夫だったということを実証として挙げた。

ただし彼自身は接種していないが…。

### ◀一番科学的だったで賞▶

アンジェラ・メルケル首相（ドイツ）

科学的常識を身に付けた数少ない世界の指導者の一人であるメルケル首相は、新型コロナが欧州に広まったとき、速やかに状況を理解した。ドイツの効果的な公衆衛生システム、州知事や隣国の指導者と具体的な意見交換を行い、感染者の激増を、厳格なテスト&トレイスと効果的な感染防止対策で乗り越えた。もちろん反マスク極右の抗議は続いているが、メルケル氏はフランスのマクロン大統領とともに、激動の中の欧州を導く主要な人物となっている。

### ◀ウイルスを完全に放逐したで賞▶

ジャシンダ・アーダーン首相（NZ）

新型コロナウイルスを効果的に排除した数少ない国として世界から称賛されている。ニュージーランドのアーダーン首相は、人口密度の低い島国であり、国境閉鎖を完全にできる国だから恵まれていると言われながらも、科学的アドバイスに基づいて、他国にまねのできない「ゼロ・コロナ」を目標とした対策を実施して、ニュージーランドをコロナ前の状態に回復させた。アーダーン氏のぶれ

ずに迅速に対策を実行する態度は、人々を安心させ、国内外から称賛され、2020年の総選挙で絶対多数を獲得した。

＜真っ先に対策を講じたで賞＞

蔡英文總統（台湾）

実施した対策がすべて正しく適切だった指導者がいる。それは台湾の蔡總統である。彼女は、2019年12月31日に武漢からのフライトの乗客全員に健康スクリーニングを行うよう命令した。

ついで、1月に中央流行司令部にコロナ対策のコーディネートを指示した。旅行移動制限、ハイリスク旅行者への検疫実施、イベントの人数制限を実施した。確立されたヘルスケアシステムと保険システムを活用して、感染者の確定、追跡、隔離プログラムを実行した。これは2000年代初頭のSARSの教訓を生かしたものである。

蔡氏の政府は、国内の民間企業と共同でマスクを大量に安く供給できる体制を整えた。1千万個のマスクを不足している他国に寄付した。

※（松崎追加）

＜周りの国々より死亡率が高いのに、欧米よりずっとまじだと安心していただけ賞＞

安倍晋三・菅義偉首相／小池百合子都知事

PCR検査数が世界150位程度の少なさなのに、死亡率が欧米よりも少ないことを根拠に、ノーブロブレムとしてきた日本の政権ですが、台湾、中国、韓国などよりも死亡率がずっと高い。つまり、しっかり検査、追跡を行えば救えたはずの命がたくさんあったはずだ。補償なしの自粛要請、リップやコロナ予防カルタを見せるだけの記者会見。つまり「出るな、歩くな、家に居ろ！」を守らない国民が悪いという自己責任論。

■新型コロナ対策のカギはタバコ対策

米国のAction on Smoking and Healthが「新型コロナとWHOタバコ対策枠組み条約（WHO FCTC）、禁煙、タバコ対策」と題して、昨年12月に医学専門誌に投稿した論説を紹介します。

「平時」でもタバコ産業は依存性があり命を奪う紙巻きタバコなどの製品の売り込みを続けてきた。その結果タバコは毎年世界で800万人以上の人命を奪う予防可能な最大の健康被害をもたらしてきた。各国の医療システムに大きな損害を与えている。タバコによる影響を受けている社会システムは新型コロナパンデミックによりさらに圧迫されている。

WHOは6月30日「これまでの科学的知見のレビューにより、喫煙が新型コロナの重症化と死亡リスクを増加する」と発表した。喫煙者はこのパンデミックから大きなリスクを背負わされている。さらに、新型コロナウイルスがエアロソルによって感染することが明らかとなっており、新型

コロナ感染防止のためにもタバコ問題に注意を払う必要がある。

したがって、各国は今まで以上にWHO FCTCの実施を強化する必要がある。例えば、FCTC第6条で義務付けられている対策である、タバコ製品の価格とタバコ税を消費が減るようにできるだけ高くすることによって、喫煙率を低下させるだけでなく、新型コロナ対策に必要な財源を生み出すことが可能となる。

WHO報告書Global Tobacco Epidemic,2019によれば、タバコ税を小売価格の75%以上に引き上げている国は現在までに38か国に過ぎない。

さらに、禁煙したいと考えている喫煙者の数は増えているが、それに対応できる禁煙サポートサービスには国によって大きな格差が見られる。

条約第14条（タバコ依存の治療の推進）の実施状態に関する2017年調査では、調査に回答した142か国の3分の2が国としての禁煙治療戦略を持っていないことが分かっている。タバコを止めたい人々の多くが適切な支援を受けられずに放置されている。

新型コロナパンデミックに際して、屋外での受動喫煙対策を強化したスペインのような国もある。しかしスペイン政府も含む世界中の国々が、人々の健康と人権を守る目標を実現するために、さらにしっかりFCTCを活用することが求められている。コロナ後の社会において、このことはとりわけ死活的な重要性を持つ。

【まつざき・みちゆき】

乙武洋匡氏 国会議員の違法喫煙問題に言及

作家でタレントの乙武洋匡氏が、ツイッターで、依然として続いている国会議員の「違法喫煙」に言及した。

乙武氏は一部の議員や秘書が会館事務所での喫煙を続けていることを報じる記事をリツイートした上で「『法律なんて守る必要ない』と、一部の国会議員が身をもって示して下さっています」と皮肉った。続けて「なのに、私たちには『守れ』と言う。この上ない説得力ですね」と批判した。

「改正健康増進法」が施行されたことで議員会館での喫煙専用室以外での喫煙は違法になったが立憲民主党の枝野幸男代表が違法喫煙したことなどで注目され、その後、衆参議員理事会で注意喚起されたが、違法喫煙が続いているという。

【解説】この問題、北海道新聞（12/13）と毎日新聞（12/19 夕刊）が報じており、議員会館事務所での喫煙に対し、厳しい批判の目が注がれている。

# 路上喫煙・ポイ捨ては 非人(道)的行為だ！…

—アンケート 608 人の回答から—

タバコ問題を考える会・千葉  
中久木一乗



## ■はじめに

権力・財力・腕力等の力のある者が、弱いものを痛めつけながら長いこと当たり前のこととして来たことが、「個人を尊重する近代的な社会」の実現と共に、それまでの「当り前が実はとんでもない異常な事だった」

ことが明かになった例を私たちは数多く知っている。(売春禁止法：1957 施行。らい予防法の廃止：1996 年施行。アスベスト使用禁止：2006 年施行など)。

路上喫煙とポイ捨てもまた、異常な非人道的行為であり、ニコチンならびにタバコ煙の生物への有害性が明白であるのに、利を貪る集団が国民の理解を遅らせ、タバコ環境の改善を遅らせているのも非人道的なことである。

個人・団体による「路上のゴミ拾い」という善意の社会活動がある。そのゴミの中で最も数が多いのがタバコの吸い殻である。

実際、街中でも住宅地でも郊外でも山でも海でも、タバコの吸い殻を見つけるのに苦労はしない。なぜか？それは「身の回りに常にタバコがあること」を国民に植え付けておきたいのがタバコ会社の本心であるからだ。そう考えるとタバコごみの処理がはかどらないわけが理解できる。

路上に不法に投棄されたタバコ吸い殻は人々の目に触れる機会が多く、公衆衛生上の問題・環境問題と並んで、道路を利用する人、特に未成年者への「タバコは普通にあるもの」という概念を植え付ける洗脳的悪影響が大きい。

子どもの教育上「タバコを吸う姿・タバコの広告・タバコの陳列等を禁ずること」は常識化したが、私はその延長線上で「タバコの吸い殻を見せない」こともまた重要なことと考えている。

## ■608 人のアンケートから

我が国におけるタバコ使用の規制は、健康増進法(2003年)、同改正(2020年)等により“遅々として進んでいる”が、FCTC(タバコ規制枠組条約：2005年)の内容には遠く及ばない。

遅れている日本の現状を改善するには、立法・行政・司法の理解が不可欠で、それには国民の理解が重要である。

そこで、まずは人々の考えを知りたく「路上不法投棄吸い殻と清掃活動」についてアンケートを行ったので概要を報告する。(2020年9・10月に、一般市民団体を主に608人からの回答)

回答者は20～80歳が主で、日本の人口比率とほぼ同等の構成と考えられる。

その内、タバコ問題の運動・活動関係者は13%で大多数は一般市民である。無タバコ運動に関心がないと回答した人は15%であった。即ち、72%の人がタバコ運動には関係ないが、タバコのない社会に関心があると回答した。これに運動関係者を含むと85%の人がタバコのない社会に関心があると答えた。

これは決して少ない数ではない。国民の多くが、声は小さいがタバコを大きな問題と思っていることを示している。

## ○路上に不法投棄された吸い殻について 特に重大な問題点1つを尋ねたところ

36%の人が、火災・火傷・衣服家具の焼け焦げ等の熱源としての危険性を挙げ、31%の人が、有害煙・悪臭・水の汚染などの直接的な化学毒の危険性を挙げた。

その他、長期的な地球汚染(9%)、物理的なゴミ問題(10%)などであったが、市民のゴミ処理概念を誤らせる(7%)、青少年教育に悪影響(7%)など、大きな視野で将来を考えた問題点の指摘もあった。

直接的な大きな有害性にも増して、青少年を含む国民全体の未来への大きな悪影響を感じ、憂えている人がこんなにも多いことを、タバコ会社及び為政者は重大に受け止めてほしい。

## ○路上に不法投棄されたタバコの吸い殻の清掃活動の意義について、特に重要な問題点1つを尋ねたところ、

24%の人が自分たちの住む環境をきれいに保つ啓発・啓蒙効果を挙げ、23%の人は活動が人々の目に触れたり報道されることによる啓蒙効果を挙げた。18%の人がきれいな場所にはゴミを捨てにくいので意義があると理解を示した。

即ち、65%の人が「ゴミの量が減る効果」ではなく人々への啓蒙啓蒙効果と理解していたことは、とても嬉しいことであった。12%の人が少しは街がきれいになるだろうと評価した。

## ■タバコ吸い殻清掃活動の意義

私たちはタバコ問題首都圏協議会の加盟団体に所属する市民団体の会員として、各自がそれぞれの方法で、路上に不法投棄されたタバコ吸い殻を中心にゴミの清掃活動を続けているが、以上のアンケート結果に励まされて、その意義を次のように考えている。

- (1) 人を含め地球上の生物に大きな害を及ぼすタバコ吸い殻の数を少しでも減らすこと。
- (2) タバコというものを、たとえ吸い殻でも、人々の目に触れないようにすること。
- (3) 特に刷り込み効果が心配される青少年の目に、タバコが触れない様にする事。
- (4) 喫煙する人が路上喫煙やポイ捨てなどの非人道的行為をし難い清潔道路にすること。

タバコが目につかない道路は、タバコのない社会へ至る道の一つで、遠回りの感もあるが、案外これが近道とも思っている。

今回の「アンケート」に際して、いくつかの市民団体（ロータリークラブ、ライオンズクラブ、倫理の会等）、また、多くの医院や歯科医院の皆さんのお世話になりました。御礼申し上げます。

アンケート結果の詳細は、日本禁煙推進医師歯科医師連盟通信に発表予定である。

【なかくき・かずのり=歯科医師/タバコ問題首都圏協議会元代表】

## 虫歯とタバコの密接な関係

父はヘビースモーカーで、私が中学3年の時に心筋梗塞になり、それを機に完全に止めましたが、生後15年にわたり私は家庭で副流煙にさらされてきたこととなります。

岡山大学から、家庭で10年以上受動喫煙にさらされていた若者はそうでなかった若者より虫歯になりやすいとの調査結果が発表されました。

受動喫煙の影響は乳歯においても報告されていて、出生後4か月で受動喫煙が確認された子どもは、吸う人がいない家庭で育った子どもに比べて3歳の時点で約2倍虫歯ができていたそうです。

タバコの煙に含まれる化学物質は、何らかの影響を及ぼして口の中の環境を変え、虫歯になりやすくなるといえそうです。

虫歯の原因菌としてミュータンス菌が挙げられますが、この菌は糖分を取り込み、分解してエネルギーと酸を作り出します。歯の表面のエナメル質は酸によって溶ける性質がありますが、時間が経つにつれミュータンス菌によってエナメル質が溶かされ、虫歯になります。

口の中の汚れを唾液が洗い流したり、血液に含まれる白血球の働きで体に有害なものを排除できれば虫歯のリスクは下がるのですが、ニコチンには唾液の分泌を抑え、血管を縮める作用があるため、虫歯のリスクをあげてしまいます。

副流煙にさらされた子どもの歯が虫歯になりやすいのは、ニコチンが影響している可能性が考えられます。【M. K生 yahooニュース(要旨)】

## 吸い殻拾い2年間の軌跡

一拾ったタバコ 3万6千本超えたー

禁煙ジャーナル編集長 渡辺 文学

2019年1月20日から“Think Globally, Act Locally!”(地球規模で考え、足元から行動を!)を念頭に、京王線・芦花公園駅周辺の吸い殻拾いを始めてから本年1月25日、634日となり、拾った吸い殻が36,901本となりました。



私鉄の小さな駅の周辺で、朝の散歩の際のわずか30分間にこれだけの本数が落ちているということは、全国的には一体何百万本・何千万本が捨てられているのでしょうか。

街頭・公園等で捨てられた吸い殻は、全国の清掃工場で燃やされており、汚染物質が大気中に放出されています。また排水溝に捨てられた吸い殻は、河川を汚し、最終的には海を汚染しています。

タバコ会社とコンビニ会社は早急に話し合っ「吸い殻買い取り制度」を設け、1本1円でいいから引き取ることを実施すべきです。街の美観を損ない、河川・湖沼・海を汚染している“ポイ捨て問題”の9割以上は解決するはずです。

【わたなべ・ふみさと(通称:ぶんがく)】

## スーパーのタバコ販売禁止

—3年後 オランダ政府の決定—

オランダ政府は12月20日、スーパーでのタバコ販売を2024年から禁止と発表した。

オランダの喫煙率は22%で、政府は5%以下にする目標を掲げている。22年からは自動販売機禁止も決まっており、スーパーと合わせて全国のタバコ売り場の70%が消えることになる。オランダではタバコ売り上げの55%はスーパーの販売が占める。

人口約1700万人の国で年間約3万5千人が喫煙の影響で死亡しているとされ、政府は喫煙率引き下げに躍起となっている。

【yahooニュースより(要約)】

# 3密の喫煙所の閉鎖・廃止を！

## そして禁煙推進を！

## 2021年 新春

<p>喫煙所で喫煙習慣を助長させるな！ 新型コロナが大好きなACE2受容体を増やすまい！ 広島県医師会・三次地区医師会禁煙推進委員 <b>安藤 仁</b> 〒728-0021 広島県三次市三次町1308-1 TEL:0824-62-0119 FAX:0824-62-5300</p>	<p>産業医科大学若松病院 呼吸器内科 診療教授 <b>吉井千春</b> 〒808-0024 北九州市若松区浜町1-17-1 TEL: 093-761-0090/FAX: 093-588-3904 E-mail: nyan@med.uoeh-u.ac.jp</p>
<p>十文字学園女子大学教授 健康管理センター長 <b>齋藤 麗子</b> 日本禁煙推進医師歯科医師連盟会長 URL <a href="http://www.nosmoke-med.org/">http://www.nosmoke-med.org/</a> 事務局e-mail nosmoke-adm@umin.ac.jp</p>	<p>「受動喫煙防止法・条例」の順守を！ NPO法人 未来塾 <b>関口 正俊</b> 〒247-0014 横浜市栄区公田町 514-9 TEL:045-719-0882 FAX:045-892-1200</p>
<p>いわき無煙世代を作る会代表 医療法人道済会 みちや内科胃腸科 <b>院長 齊藤 道也</b> 〒971-8124 いわき市小名浜住吉字道下 33 TEL:0246-58-4180 / FAX:0246-76-1620</p>	<p>道北勤医協 旭川北医院 <b>松崎 道幸</b> 〒070-0842 旭川市大町2条14丁目 TEL: 0166-53-2111 natsuzak@maple.ocn.ne.jp</p>
<p>受動喫煙ゼロを目指して！！ 秋田・たばこ問題を考える会 <b>代表 鈴木 裕之</b> 〒010-0917 秋田市泉北 3-17-10 “一診一笑”のすずきクリニック <a href="https://www.suzukiclinic-hy.com">https://www.suzukiclinic-hy.com</a></p>	<p>タバコフリー愛媛会長／愛媛県医師会常任理事 新居浜市医師会副会長 <b>加藤 正隆</b> 〒792-0856 愛媛県新居浜市船木甲 4322-2 かとうクリニック URL <a href="http://katoclinic.biz">http://katoclinic.biz</a></p>
<p>*フェアトレード&amp;ブックカフェ* <b>アシリアペ</b> 〒311-0505 茨城県常陸太田市大中町 3486-2 TEL:0294-59-3588 メール <a href="mailto:susu-kimi@nifty.com">susu-kimi@nifty.com</a></p>	<p>社会医療法人公徳会 トータルヘルスクリニック院長 <b>川合 厚子</b> 〒999-2221 南陽市桐塚 1180-5 TEL:&amp;FAX:0238-40-3406 <a href="mailto:atsuko.kawaia@gmail.com">atsuko.kawaia@gmail.com</a></p>
<p>医療法人 アンビシヤス 坂の上野田村太志クリニック理事長 <b>田村 太志</b> 〒024-0021岩手県北上市上野町4丁目2-15 TEL: 0197-65-1111/FAX: 0197-65-1113 Email:sakanoueno@tamura-clinic.ecnet.jp <a href="http://user.ginga-net.ne.jp/~tamura-clinic/">http://user.ginga-net.ne.jp/~tamura-clinic/</a></p>	<p>医療法人 光潤会 平間病院院長 無煙世代を育てる会代表 全国禁煙推進協議会会長 <b>平間 敬文</b> 〒304-0002 下妻市江 2051 TEL:0296-43-5100b FAX:0291-43-5156</p>



# 香港のコロナ対策

堀 眞

香港の新型コロナ対策は非常に厳しく、これまでのところ感染者数は低く抑えられています。少ないながらも最近増えており、東京の人口に合わせると、毎日100人程度の新規感染者数となっております。



それでも緊急事態宣言下の日本よりもずっと厳しい感染抑制策が執られています。バーなど飲酒が目的のお店は、延べ6か月以上も営業停止です。バーも完全禁煙化されているので安心してお酒が楽しめるのに、去年はほとんど行ける機会がありませんでした。

一般飲食店は夕方6時までの店内飲食となっております。夜間はテイクアウトのみしかできません。昼間の飲食も1テーブル2名まで、店内キャパの半分までしか入店できないことになっています。美容エステなども営業を停止させられています。

公園やビーチなども閉鎖されており、週末にぎわっていたリゾートビーチも、日曜日でも誰一人歩く姿を見ないほどです。

マスク着用義務も厳しく、未着用は罰金5000ドル(約70000円)となっております。マスクをしていない人はほとんど見かけません。といってもマスクに関しては、強制させられていなかった昨年3月にはほぼ100%の着用率でした。そうすると、歩きタバコもできません。

香港では室内禁煙が法制化されたため喫煙者は外で吸うようになり、禁煙条例が本当に良かったのかと疑問に思うほど、歩きたばこはひどいものでした。ゴミ箱に付属している灰皿にも喫煙者が群がり、副流煙の被害に遭わない日はありませんでした。

そのごみ箱も、デモでバリケードなどの材料として使われたため、多くは撤去されています。

デモとコロナのおかげで、皮肉にも屋外喫煙者が少なくなっており街は快適さを増しました。

ただ喫煙者はどこにでもいるもの。狭い路地裏の薄汚い隙間に入り込んで吸っています。

まるでネズミやゴキブリが狭いところに身を隠すかの如く、そこには無数の吸い殻が捨てられており、まるで灰皿の中でタバコを吸っているような状態です。

日本のタバコ規制、コロナ対策などなど、何をとっても中途半端。外から見ていると、心配でなりません。

【ほり・まこと=会社役員(香港在住)】

# 巨人と桑田と禁煙と

「巨人は出戻りを許さない」という“掟”を覆して電撃的にコーチ就任した桑田真澄氏。

「桑田さんにとっても急な話だったようです。原監督から電話をもらい、桑田さんも本心から喜んでますね。もう巨人のユニフォームは着られないと思っていたようですから…」(ある評論家)。

桑田氏はメジャー挑戦のために自ら退団して球団と疎遠になった。球界きっての理論派で、今シーズン終了後に再びメジャーを目指したい菅野の相談役というのは筋が通る見立てだ。

## ■自分の意見を通した桑田

「桑田は頑固なところがある。現役時代の桑田は、喫煙問題でも自分の意見を通したからね。移動の新幹線でも、自分だけ禁煙車に移ってしまったこともあるし、バスやロッカールームでも球団に分煙を要求した。当時は喫煙する選手が大半を占めていたから、面白くないと思っていた先輩たちもたくさんいたが、桑田は折れなかった。桑田の言っていることが正論だったからね」。

「桑田の禁煙」は、巨人の球団史では知る人ぞ知る有名な“内紛”だった。タバコ嫌いの桑田氏は、入団直後から球団に禁煙を直訴していたものの、当時は喫煙選手が多数派で桑田氏がむしろ異端扱いされたのは、そういう時代だったからだ。

## ■禁煙推進した長島監督

桑田氏待望の禁煙が実現したのは1995年のことだった。第二次長島政権の3年目で、非喫煙者だった長嶋氏の決断で、バスやロッカールームの分煙、キャンプ地での禁煙が決まった。

「原監督は喫煙にうるさい。2008年には、入団4年目の東野峻に、先発ローテーション入りの条件は禁煙だと申し渡したこともある」。東野は結局禁煙できず、2012年オフにトレードされた。

第三次政権が決まった際の記者会見では、4番の岡本和真が成長するには何が必要かの質問にて『まずタバコをやめることだね』と答えている。

## ■打倒ソフトバンクの第一歩?

桑田コーチが復帰することで、喫煙している選手への風当たりは強まると見られている。

原監督も現役時代はヘビースモーカーだったようで、OBのなかには「よく言うよ」という声もあるとか。しかし、アスリートにとって喫煙は百害あって一利なしであることは論をまたない。

これを機に巨人で禁煙が定着すれば、桑田コーチの最初のお手柄になると期待されている。

巨人の禁煙は、もしかすると打倒ソフトバンクの第一歩にもなるかもしれない。

【yahooニュース 2021.1.23(要旨)】

### 【カンパ・寄付金の御礼】

昨年も、多くの方々からカンパ（寄付金）を賜りました。厚く御礼申し上げます。

※（「意見広告」への協力者を含みます）

2021年1月

編集長 渡辺 文学

#### ■《個人》（50音順・敬称略）

【あ行】安部直幸／間克麿／安島弓子／明石美智子  
秋間実／朝日奈美子／天谷龍夫／新井治／安齋悦子  
／安藤仁／家田重晴／井上昌子／伊佐山芳郎／伊藤隆  
／伊藤憲明／伊藤亮典／伊礼壬紀夫／池田直治  
／石寺司郎／和泉洋子／出雲谷恭子／板子文夫  
／板子まさ子／茨木茂／岩瀬光／宇佐神正海  
／小川悟／小笹晃太郎／小野田勇介／大石永義  
／大國義弘／大倉美江／大野友秀／大野洋子／大橋勝英  
／岡田渡

【か行】加藤たき／加藤正明／加藤正隆／風間咲美  
金子教宏／金子守年／川合厚子／柏森慶子／川根博司  
／神戸敏行／岸田吉文／久保田晶子／楠山弘之  
／窪田敏／栗岡成人／車地祐子／小嶋潔／小葉松洋子  
／小林奈保絵／河野哲也／近藤昌平

【さ行】佐々木温子／佐々木恵司／佐藤克明／佐藤哲夫  
／斎藤道也／齋藤麗子／座間恵美子／師玉憲治郎  
／篠原健一／篠原ひろみ／下里直行／新堂幸司  
／鈴木卓二／鈴木誠／鈴木裕之／鈴木孔子／菅原真砂子  
／関口正俊／千本松みどり

【た行】田村太志／田村良彦／高木重人／高木重治  
高田三千尋／高橋是良／高橋規好／竹内幸雄／竹下洋基  
／竹中利彦／館野文美雄／柘植敬子／辻丸卓美  
／坪井永保／寺嶋法子／照屋勉／殿岡哲雄  
／徳留修身／富永一馬

【な行】中川孝一／中久木一乗／中田みどり／仲野暢子  
／中村和彦／成見泰孝／西尾康幸／西田一／新田由規子  
／野上浩志／野末侑信

【は行】羽二生格矢／箱木真澄／萩原明／箔井利孝  
花島直樹／林宏匡／原田久／氷鮑健一郎／平田信夫  
／平田文雄／平間敬文／平山陽示／藤沢幸三郎  
福島文一／古橋脩作／細川洋平／細田貢次・雅江  
／本田宏

【ま行】前山邦雄／牧野賢治／増山美子／松浦博志  
松尾正幸／松崎道幸／松沢成文／松下孝幸／松村誠  
／松本直樹／松本裕二／見上進／見上喜美江  
／宮崎恭一／向井順之輔／村松弘康／村田尚亮  
／村山真知子／室谷静雄／本木千恵子／森亨  
／森島真守富巫蘭

【や～わ行】矢島浩志／安田雄司／山下健／山田英三  
／山本蒔子／山本くるみ／山本長史／山本政明  
大和浩／幸田和裕／吉井千春／吉岡和晃／和島美枝子  
／和田廣治

※《この他、匿名希望の方若干名》

#### ■《企業・団体》（順不同／敬称略）

暁産業(株)（代表取締役社長・荒木伸男）／受動喫煙撲滅機構（理事長・田中潤）／日本禁煙学会（理事長・作田学）／日本コンピューターサイエンス(株)（代表取締役会長・山際正剛）／無煙世代を育てる会（代表・平間敬文）／沖縄県健康づくり財団（理事長・比嘉政昭）／NPO法人未来塾／中国労働衛生協会（理事長・宮田明）／タバコフリーカフェをひろげる会（見上きとす）／タバコ問題首都圏協議会（代表・松原幹夫）／嫌煙権確立をめざす人びとの会（代表・中田みどり）

※（ご氏名・団体名等が漏れていた場合は、平にご容赦ください。次号で紹介させていただきます）

「カンパ」（寄付金）は、個人＝1口：1,000円、団体＝1口：10,000円とさせていただきます。（渡辺文学）

### 横浜市・喫煙禁止地区の過料処分

～ピーク時の5分の1に～

横浜市は街の美化や危険防止の観点から、繁華街など8地区を喫煙禁止地区に指定し、違反者には2千円の過料徴収を行なってきた。過料処分件数はピーク時の5分の1と効果が表れる一方で、該当地区以外の喫煙マナーは課題を残している。

市は2008年、横浜駅周辺やみなとみらい21、関内の3地区を喫煙禁止地区に指定した。以来、鶴見駅周辺と東神奈川駅周辺、新横浜駅周辺などを追加、現在8地区が喫煙禁止地区となっている。

地区内では年末年始を除き、県警OBの指導員が巡回し、違反者から過料を徴収している。

取組みの効果もあり、喫煙禁止の認知度は向上。過料処分は09年度の5755件をピークに、19年度は

1146件と5分の1に減少した。

市は屋外の喫煙を禁じているわけではないが、歩きながら吸わないように求めているほか、ポイ捨ては2万円以下の罰金に処すると定めている。

しかし、禁止地区に指定されていない駅周辺や繁華街などでは、歩きたばこやポイ捨てなど、喫煙マナーが問題視されるケースは多い。

市に寄せられた「市民の声」には、新しく喫煙禁止地区の指定を求める意見も出ている。だが、人件費や喫煙所の清掃費用等多額の費用が必要で指定地区を増やすのは難しいのが現状だ。

市でもマナー向上を目指し、警備会社に委託して「歩行喫煙防止パトロール」を実施している。

今後は、市民から要望の多いエリアについては重点的なキャンペーンを実施していく方針だ。

【yahooニュースより（要約）】

## ＜メディア・ウォッチング＞

■12/12『朝日』『アプリで病気を治療』始まる  
「スマホと向き合い『認知行動療法』」。スマホのアプリを、医薬品などに次ぐ正式な治療手段にしようという動き（①うつ病治療②高血圧治療③非アルコール性脂肪肝炎治療④公的な保険の適用が決まったニコチン依存症治療用の「キュア・アップSC」について取材・解説■12/13『北海道新聞』『国会議員 続く違法喫煙』『専用室使わず議員会館自室で』。廊下でたばこに火を付けて秘書から注意を受けた議員や「この部屋は吸える」と喫煙者を招き入れる秘書がいるという。ある議員秘書は「服がたばこ臭くなり、つらい。立場があるので声を上げられない」と打ち明ける。日本禁煙学会・作田学理事長「屋内完全禁煙は世界の潮流で、議員会館自体を全面禁煙にするべきだ」。「国際基準のタバコ対策を推進する議員連盟」松沢成文幹事長「自分たちでつくった法律を守らない特権意識は言語道断。実態調査をすべきだ。大島理森衆院議長「議運委員長と相談して対応」と説明。前向きな姿勢は示さなかった■12/19『毎日』『永田町 屋内喫煙室に異変』『出入口扉外し『のれん』』。国会や自民党本部などの「異変」を取材。内容は①衆院議員会館地下1階の廊下でたばこのにおい。以前の喫煙室には扉があったはずだが、喫煙者がビニール製の「のれん」をくぐって出入り②喫煙専用室については、厚労省は基準を定め、この基準を満たささえすれば扉は必要ない③「基準」は喫煙室内の空気を押し出すだけの風の力が必要で、においの有無ではなく風速条件が重要④末尾は自民党関係者でさえ「のれんは意味がない」との声■12/20『読売』『JT初制覇 全日本女子』。バレーボール全日本選手権女子決勝で、JTが東レをストレートで下し初優勝という内容。本紙渡辺編集長はコピーの余白に「FCTCに違反しているバレーボールチームは直ちに解散を」と付記■12/25『朝日』（投書）「お金を捨てる人はいないから」。ゴミは「ためたのちに捨てたとみられるたばこの吸い殻」「ビールやジュースの空き缶」など種々雑多。「残念なことに」お金は捨てられていない。ペットボトルやプラ容器のデポジット制度に取り組むことを提案していたジャーナリストの意見に賛成。預り金を上乘せして販売し、容器の回収時にお金を戻せば、ポイ捨てが減ること間違いなし。お金を捨てる人はいないはず！子々孫々にゴミだらけの海や街を残したくないといった内容。「たばこの吸殻」もデポジット制度の対象に含めて例示しなかったのは何故？（笑）■12/25『産経』『自治体の喫煙所整備広がる』『受動喫煙・ポイ捨て防止へ、与党も後押し』。ポイ捨て防止を掲げてはいるものの「たばこ税の税収確保」の観点から、政府与党の“お墨付き”に沿って喫煙所の設置・整備に励む二つの自

治体（足立区、大阪府）の動きを取材。「たばこ税は用途に制限のない一般財源で、政府・与党は、貴重な税収を確保するためにも、地方たばこ税を活用して喫煙環境を整えるよう促している」だった■12/31『週刊実話』『森永卓郎の経済千夜一夜物語』『新型コロナ『悪魔のシナリオ』』。コロナ禍が拡大しても政府が「旅行者が感染を広めている証拠はない」と強弁したのは「喫煙が寿命を短くするという統計的な証拠があっても、喫煙がどのようにして寿命を縮めているのかという病理的なメカニズムが明らかではないから喫煙は無害だと主張するのと同じ論理」と断罪。JT出身の森永先生がこんなに変身していたとは（笑）

■1/1『東京』[こちら特報部]「ごみ拾いはスポーツだ」「趣味が進化、大会に計10万人参加」「環境問題も身近に」。ソーシャルスポーツイニシアチブ馬見塚健一代表を取材。これまでに約9万人が参加するほどに浸透。その競技の中でタバコに関する記述は①拾ったごみの量と種類を得点化して競うルール。可燃、資源、たばこの吸い殻など五つに分別し、種類ごとに定められた百グラム当たりのポイントを集計して順位を付ける②高ポイントのたばこの吸い殻は、目線が低い子どものほうが見つけやすいなど■1/11『読売』[医療ルネサンス]「アプリで健康に」「禁煙継続のアドバイス」。医療ベンチャー「キュア・アップ」が開発した禁煙アプリを解説。①福永興孝慶大教授「ニコチン依存は薬物治療で軽減できるが、喫煙習慣自体は薬では変えられない」②佐竹晃太キュア・アップ社長「アプリは『デジタル療法』という新しい治療分野を生み出した。海外でも安全性や有効性が認められるものが出てきており、無限の可能性がある」■1/13『朝日』『言葉をたどる妻がどんどん近くなる』『歌人・細胞生物学者永田和宏さん』。永田和宏氏には別の“顔”があって、それは「JT生命誌研究館館長」。本紙渡辺編集長はコピーの余白に同氏を取り上げること自体FCTCに違反、と付記■1/16『毎日』中村桂子評（JT生命誌研究館名誉館長）「医師が死を語る時 脳外科医マーシュの自省」「ヘンリー・マーシュ著『医療現場の実感と向き合う』。記事には「医療現場はさまざまな生と死が交錯する場であり、人間として関心を持つべきところである」とあり、末尾では「『よき生』と共に『よき死』を考える必要性を知った以上、医療関係者の実態と実感を知る努力をしながら、自分なりの答えを探すほかないと思いはじめている」とあった。年間の喫煙関連死は12～13万人とも言われているが、中村桂子氏はその死を『よき死』と考えて「館長」に納まってきたと考えてはいけぬのか（笑）。

【氷飽（ひがの）健一郎】

漫筆

禁煙ジャーナル読者のみなさま、お元気ですか？この何でもない挨拶を心をこめて申し上げます。大丈夫でない方もいらっしゃるだろうと思うからです◆中国発の新型コロナだ。何がどうなっているのかさっぱり分かりませんが、これを書いている現在、日本国内の死者は100人を超え重症患者は1000人だとか。本号が出るころにはもっと増えているだろうと考えるとガックリです。まあ、なぜこのようなことに？は本号が出るころには明らかになっていることなのでしょうが（なっていないかったりして……）。とにかく一人一人が「今を乗り切る」としかいいようがない。幸いといたら何ですが今のところ何処も悪いところはありません。またこれは幸いとはいいたくないのですが漫画の仕事も、それほどナイことも「よかった」と思うことにしました（笑）◆77歳になります。20歳で漫画家になりましたから、ずいぶん長い漫画家生活ということになる。ほとんど共にがんばった、はらたいら氏、谷岡ヤスジ氏も故人だ。生きているのは黒鉄ヒロシ氏とぼくと……くらいのもですね（笑）。まあとにかくこの先は無いということです。それだけ生きてこられたのだから、これまた文句はありません。ところで漫画家の友人はいなくなりましたが編集者の友人はいます◆それが元少年画報社の「ヤング・コミック」の編集者で、ぼくの担当だった覚悟（かけいさとる）氏だ。覚さんとぼくはお互いが「クサレエン」といっているくらいのもでもうイヤになるほど長い。覚さんが少年画報社を定年退職した後も二人で別府大学の夏期特別授業というの長くやっていました。大学の授業が終ると近

くの温泉に行き、たっぷり浸かった後、生ビールのガブ飲みという、今思えば天国のような毎日だった（笑）。ああいういい時もあったのだと思うことにしています。前にも書いたかもしれませんが、わが家の家系は短命で父親は50歳ソコソコで逝ってしまいました。長い間そのことを気にしていましたが母親は長命で80歳を越しても元気でしたので、ぼくは母親に似たのだと思うことにしました。ようするに特別なことがなければ母親のように生きられるですね。ちょっと遅いかもしれませんがこれをサトリとしたい◆長生きの楽しみ、それは亡き友が見ることのできなかつた世界です。歳をとる、老いるということの意味のようなものでもある。そのためにも、とにかくできるだけ過去のことを思い出し記憶しなおすことにしています。こう考えて長い間の謎が解けました。父や母やその他先輩達からいやというほど聞いた繰り言だ。あれはボケのためではなく自分の「記憶のしなおし」だったのだと。【高信太郎】



無煙賛歌

女子パレー条約違反のJITが  
東レ下して優勝は残念  
喫煙を続ける議員あとたらず  
自浄作用を期待してもムダ  
イギリスはコロナ感染激増し  
これがきっかけ百万人が禁煙  
アプリでも臨床試験の効果出て  
禁煙治療に保険が適用  
街中に沢山落ちてくるごみタバコ  
これを拾ってスポーツに変えた  
富美郷

【雑記帳】 年が改まっても、新型コロナ感染は増加の一途を辿っており、終息する気配は見えません。菅首相は「2月上旬には緊急事態宣言を解除」と言っていますが、国民はこの言葉を信じていません。世界中でコロナ禍が激増しているなかで、果たしてオリンピックの開催が可能でしょうか◆私は、5年前に東京開催が決まった際「横浜タバコ病訴訟ニュース」（2015.1.29）で「5年という歳月を考えたとき、例えば福島原発がどうなっているか、富士山の噴火は、自衛隊の海外派遣などで、日本もテロの対象国となって、大規模なテロが起こる危険性はないのかなど、無事に2020年を迎えることが出来るのか、と思わざるを得ません」と、開催に疑問を呈していました。その予言が正に的中でした。◆そして延期の年になりましたが、世界各国の報道機関やアスリートから「中止」の声が上がり始めています。日本の世論でも約8割が中止・延期を求めており、もはや開催には「赤信号」が点滅しています。この際「五輪関係予算」は「新型コロナ対策」に振り向けるべきと思いますがいかがでしょうか◆本号から紙の色を変えました。昨年、異業種交流でユニークな会を主宰しておられるVAB倶楽部会長の近藤昌平氏のお誘いで、潮流社の矢野弾氏を訪ねました。矢野氏は「矢野経済研究所」の創始者であり、都立千歳高校の先輩でもあります。その矢野氏から、小紙を見て「白い色を変えたほうがよい」と

アドバイスを頂きました。そして、遠藤印刷とも相談のうえ「クリーム色」に変更した次第です。いかがでしょうか◆郷里の南会津町は、今年は豪雪のようです。昨年は「コロナ問題」のために、僅か2回しか足を運べませんでした。今年は……と期待していましたが、このまま推移すれば、また帰省することは困難になってしまうのでは、と思わざるを得ません。1月の俳句の会では「豪雪の故郷想い一人酒」と詠んでみました。（文）

